



## 쪽과 쪽물 초크그아츄눔룰 藍染の過程



① 藍の原料  
3月に種を蒔き、8月下旬に収穫する。赤と白の花があるが、赤色の花が藍染めに適する。  
花の名前  
PersicariatinctoriaH.  
Gross 一年草



② 新鮮な葉の茎を切り落とし足で踏みながら隙間なく瓶に詰め込んだ後水を入れて重石をおく。水は自然水が良い。二、三日おくと葉が薄茶色に変化してくる。水が緑色に変わった状態をみて葉を取り出す。



③ その中に軽くかき混ぜながら石灰を入れて行く。石灰の分量は器一杯の染色水に対し一握りの石灰。泡の色が紫色になるまでかき混ぜ続ける。この紫色がでないときは失敗である。



④ この紫色になった染色水を「一番色」といい、これを一日置いて上澄みの緑色になった水を捨て去る。残ったお汁粉のような沈殿物に再び灰汁を注ぎ水の色が春の新芽の色の鮮やかな緑色になるまで続ける。



⑤ ④の状態の色を「二番色」といい、写真の色になるまで十日間以上もかかる場合がある。この色がでて初めて完成品となる。



⑥ 藍染めに使う木綿は灰汁に弱いので煮詰めてから木綿を浸し、洗うこれを何度も繰り返して丹念に染められたものが、色合いや柔らかい生地感触も良い染物ができます。



天日に干して完成した藍物